

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	リハビリテーション医学2	講義	1	20	解剖学・生理学・柔道整復学 整形外科学・公衆衛生学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔整科・3年生	南沢 悟	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>・リハビリテーションの理念と歴史を説明し、リハビリテーション医学の位置づけについて理解を深める。その上で、リハビリテーション医学の概念と方法を学ぶ。リハビリテーション医学の基礎理論、評価および診断について理解する。リハビリテーションの治療手段を学び、リハビリテーション医学の実際を学習する。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>・リハビリテーションの概念・歴史やリハビリテーション医学の流れについて概説し、リハビリテーション基礎医学を学ぶとともに、リハビリテーション評価とリハビリテーション治療学について詳細な説明をしながら学習する。また、評価の中でも臨床上特に必要な身体測定、ROM、MMTなどについて実技を交えながら実施することで、学習効果を上げる。各疾患についてはリハビリテーションを行う上で必要な基礎的知識を身につけるため病態についても概要を説明する。</p>					
教科書・参考書					
社団法人 全国柔道整復学校協会 監修、三上真弘 編「リハビリテーション医学(改訂第3版)」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科書を忘れないようにすること ●関連する国家試験問題を復習しておくこと 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		リハビリテーションの理念と概念		/	南沢
2		リハの領域とチーム・アプローチについて		/	南沢
3		急性期・回復期リハビリテーションとは		/	南沢
4		慢性期・維持期(生活期)リハビリテーションとは		/	南沢
5		臥位・座位・立位の移乗トレーニング		/	南沢
6		呼吸筋トレーニング		/	南沢
7		体幹筋およびコア筋のトレーニング		/	南沢
8		筋持久力トレーニング		/	南沢
9		高齢者の障害受容における心理		/	南沢
10		リハビリテーション評価 (ROM-test 頸部・上肢編) (実習室・ゴニオメーター準備)		/	南沢